



第2回

どういう仕組みで動くのか

公式の教材を、順番に

Anthropic 公式 Claude Academy 「Claude Code 101」

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code 101 / How Claude Code works

原文を省略せずに訳しています。訳や解釈の誤りは私の責任です

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第2回

今日のレッスン



原石工房

Claude Code 101 の2つめ

原題 How Claude Code works

訳 どういう仕組みで動くのか

5つの節に分かれています

このレッスンの流れ



原石工房

教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

① エージェントのループ

② 一度に持てる情報

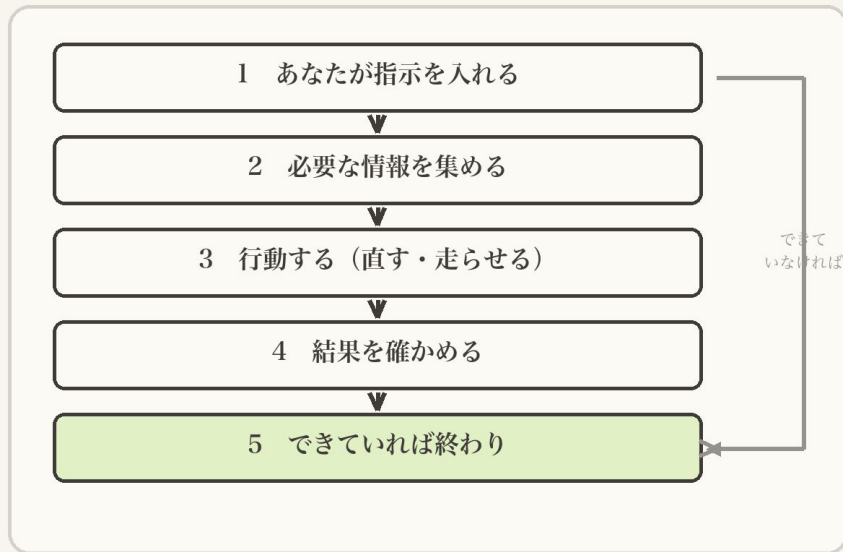
③ 道具

④ 許可の段階

⑤ まとめ

① エージェントのループ

原題 The Agentic Loop



できるまで、この5つを繰り返す

Claude Code は、エージェントのループで説明するのが、いちばん分かりやすいです

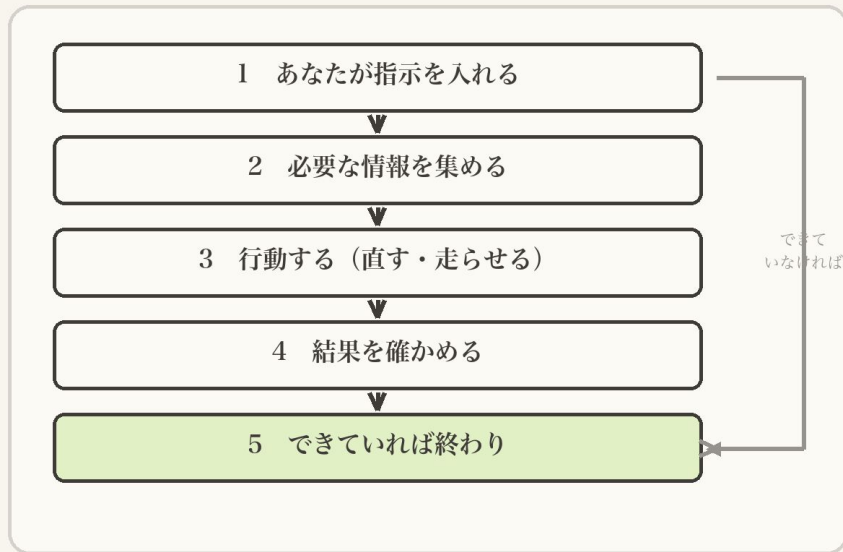
1 あなたが Claude Code に指示 (プロンプト) を入れます

① 情報を集めて、行動する



原石工房

節1のつづき



できるまで、この5つを繰り返す

2 Claude Code がモデルとやりとりしながら、必要な情報を集めます。モデルは、文章か、実行できる「道具の呼び出し」を返します

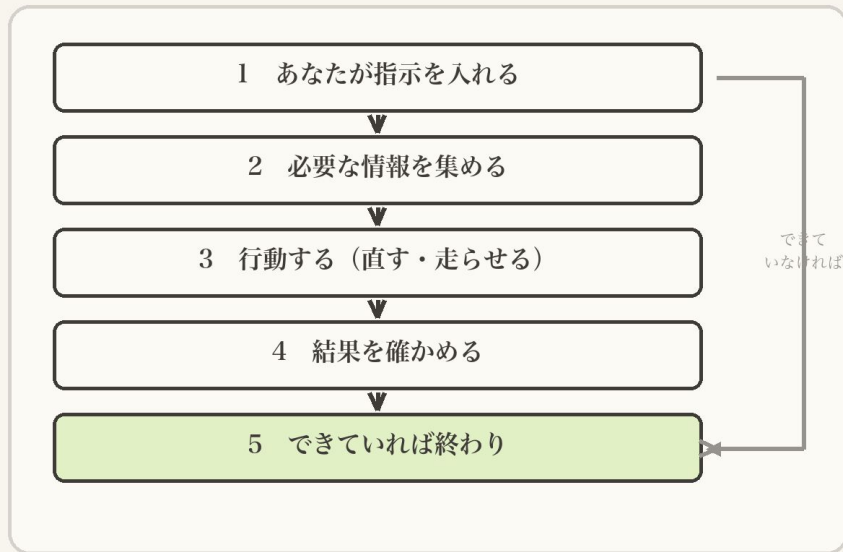
3 行動します。たとえば、ファイルを直したり、命令を走らせたり

① ループの終わり方



原石工房

節1のつづき



できるまで、この5つを繰り返す

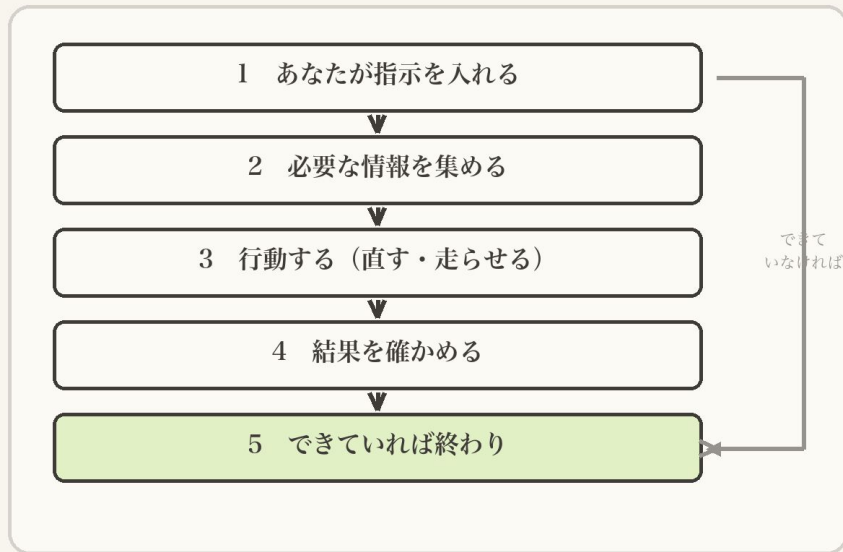
4 結果を確かめ、あなたの指示が目指したことを達成できているかを判断します

① できていなければ、やり直す



原石工房

節1のつづき



できるまで、この5つを繰り返す

5 できていれば、Claude は終わって、次の指示を待ちます。できていなければ、ループの先頭に戻って、もう一度試します

結果が完全になり、確かめられる状態になるまで繰り返します

① あなたは、途中で手を出せる

節1の結び



ループの間ずっと、あなたが導ける

このループの間ずっと、あなたは情報を足したり、割り込んだり、向きを変えさせたりして、目標へ導く手助けができます

① ここで出てきた言葉



原石工房

3つ開きます

プロンプト

AIへの指示。「これをやって」と文字で伝えるもの

モデル

AIの本体。大量の文章から言葉のつながり方を学んだもの

道具の呼び出し

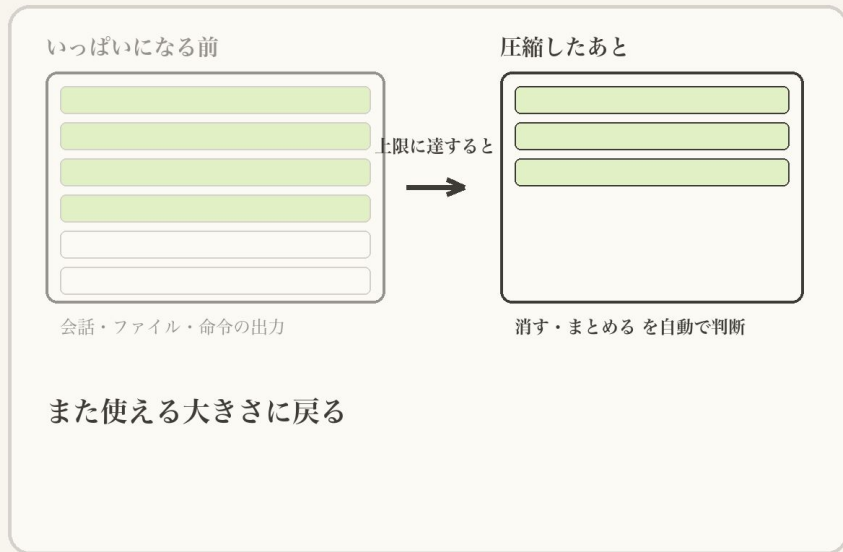
「この道具を、こう使って」という指示。文章の代わりに返る

② 一度に持てる情報



原石工房

原題 Context

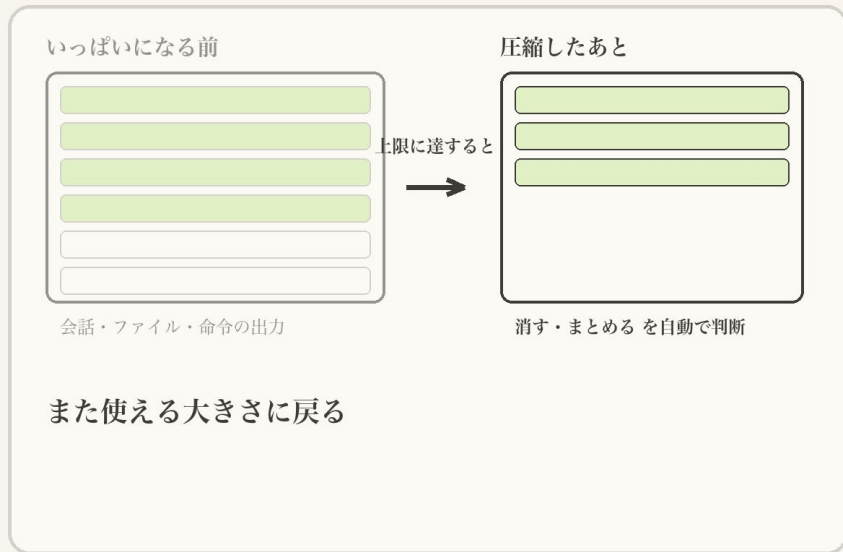


Claude にはコンテキストウィンドウがあり、会話・ファイルの中身・命令の出力など、どれだけ覚えて参照できるかが、これで決まります

いっぱいになったら、自動で小さくする

② いっぱいになったら、圧縮する

節2のつづき



その上限に達すると、Claude Code
は会話を圧縮します

何を消せるか、何をまとめられるかを
自動で判断して、コンテキスト
ウィンドウを使える大きさまで戻し
ます

いっぱいになったら、自動で小さくする

② ここで出てきた言葉



原石工房

2つ開きます

コンテキストウィンドウ

一度に持てる情報の入れ物。第1回では「作業中の記憶」と呼びました

圧縮

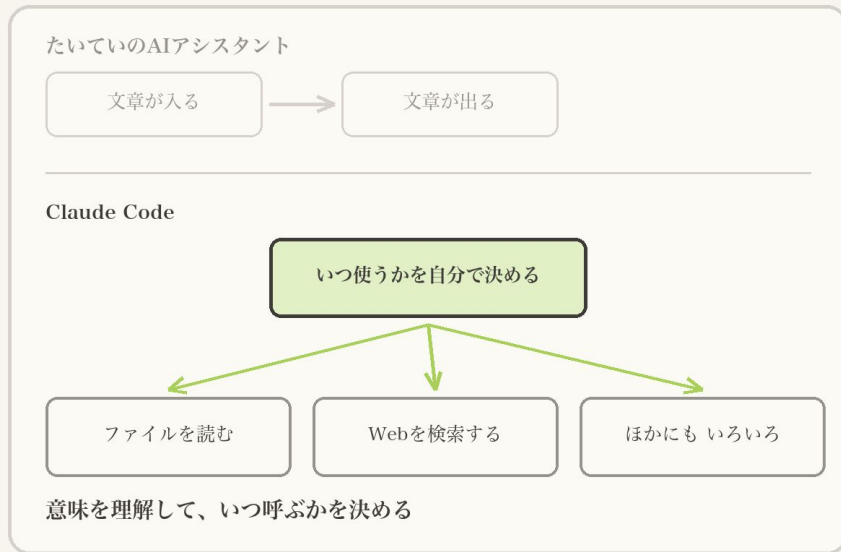
要らない所を消したり、短くまとめたりして、小さくすること

③ 道具



原石工房

原題 Tools



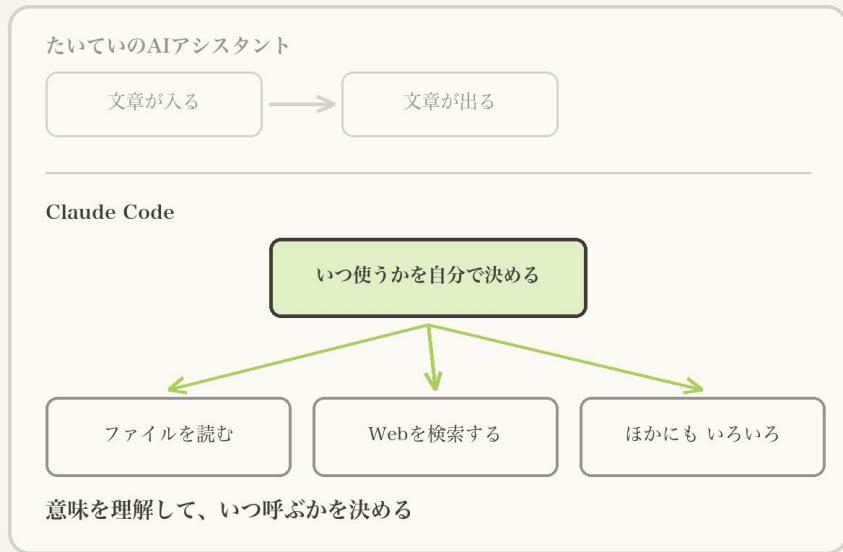
道具があるから、行動できる

道具は、エージェントが動く仕組みの背骨です

たいていのAIアシスタントは、文章を受け取って、文章を返すだけです

③ いつ使うかを、自分で決める

節3のつづき



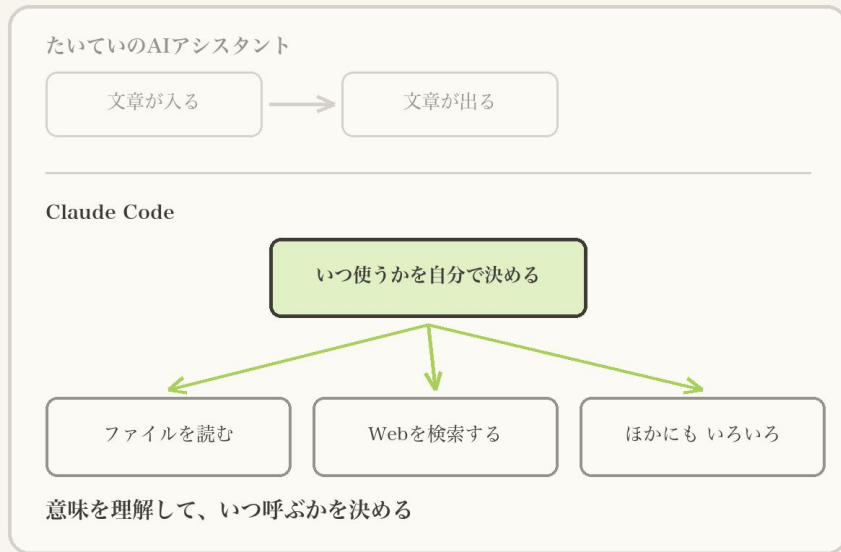
道具があるから、行動できる

道具があると、Claude Code は
「いつ」コードを実行すれば仕事の
完了に近づけるかを、自分で判断で
きます

ファイルを読む道具、Webを検索す
る道具、ほかにもいろいろあります

③ 意味を理解して決める

節3の結び



道具があるから、行動できる

Claude Code は意味を理解して、
いつ道具を呼ぶか、その結果をどう
使うかを決めます

意味を理解して 言葉の見た目では
なく、内容を分かったうえで、とい
う意味

④ 許可の段階



原石工房

原題 Permissions

手動

直す前・走らせる前に、必ず許可を求める

自動で受け入れる

ファイルは聞かずに直す。命令は承認が要る

プランモード

読むだけの道具で、先に計画を立てる

自動モード

聞かずに進む。裏で分類器が1つずつ確認する

手動 ファイルを直す前、シェルの命令を走らせる前に、Claude がはっきり許可を求めます

自動で受け入れる ファイルは聞かずに直しますが、命令はやはり承認が要ります

どこまで許すかは、4つから選べる

④ プランモードと、自動モード



原石工房

節4のつづき。4つめだけ、少し長く書かれています

手動

直す前・走らせる前に、必ず許可を求める

自動で受け入れる

ファイルは聞かずに直す。命令は承認が要る

プランモード

読むだけの道具で、先に計画を立てる

自動モード

聞かずに進む。裏で分類器が1つずつ確認する

プランモード 読むだけの道具を使って、作業を始める前に計画を立てます

自動モード 許可を聞かずに進みますが、裏で分類器が1つずつの行動を確認します

どこまで許すかは、4つから選べる

④ 何を止めるのか



原石工房

節4のつづき

手動

直す前・走らせる前に、必ず許可を求める

自動で受け入れる

ファイルは聞かずに直す。命令は承認が要る

プランモード

読むだけの道具で、先に計画を立てる

自動モード

聞かずに進む。裏で分類器が1つずつ確認する

取り返しがつかない行動、壊す行動、あなたの環境の外へ向かう行動を止めることを狙っています

止められたとき、Claude はたいいてい、より安全なやり方を見つけるか、あなたに進めてよいか尋ねます

どこまで許すかは、4つから選べる

④ 気をつけること



原石工房

節4の結び。教材がはっきり書いているところ

新しいセッションがどの段階で始まるかは、あなたのプランと設定によります

これらはすべて設定ファイルで変えられます

許可を飛ばすときは気をつけてください。命令を自由に走らせる権限を与えるということは、間違いが起きる前に気づくのが難しくなる、ということです

④ ここで出てきた言葉



原石工房

4つ開きます

シェルの命令

ターミナルで打つ命令のこと

分類器

その行動が危ないかどうかを、機械が見分ける仕組み

設定ファイル

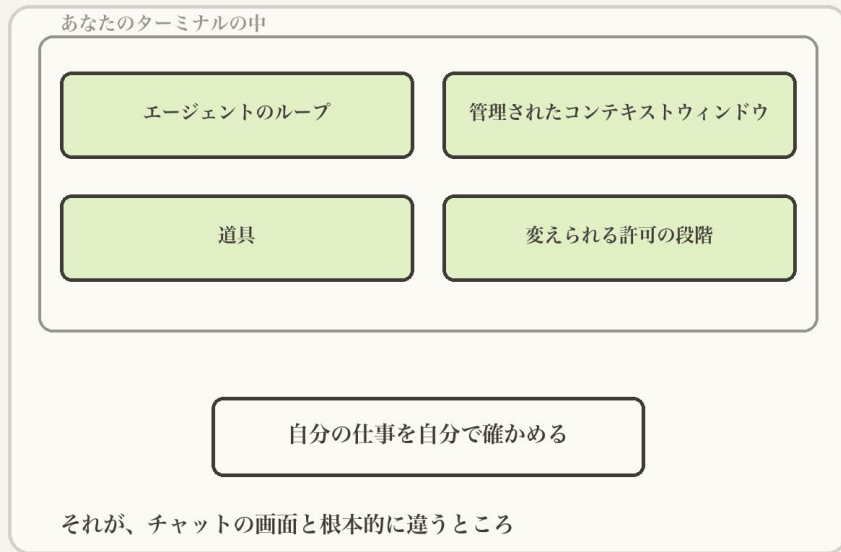
決めごとを書いておくファイル。ここを変えると動き方が変わる

プラン

契約の種類（無料か、有料のどちらか）

⑤ まとめ

原題 Recap



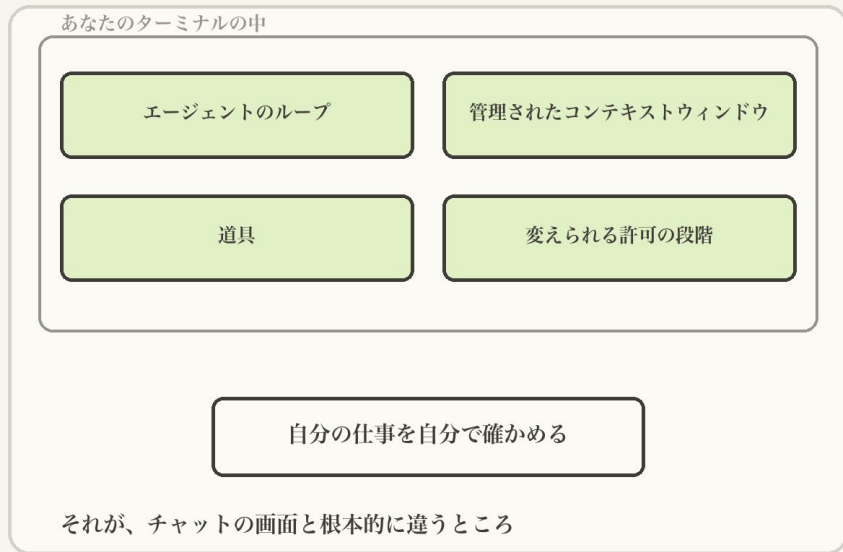
4つを組み合わせて、確かめながら進む

Claude Code は、いくつかのエージェントの考え方を組み合わせています

エージェントのループ、管理されたコンテキストウィンドウ、道具、そして変えられる許可の段階

⑤ チャットの画面と違うところ

節5の結び



4つを組み合わせ、確かめながら進む

それが全部、あなたのターミナルの中にあります

プログラム一式を読み、行動し、自分の仕事を自分で確かめられます

それが、チャットの画面と根本的に違うところです

今回のまとめ



原石工房

この回で押さえるところ

- ・ エージェントのループは5段階。できるまで繰り返す
- ・ ループの間ずっと、あなたが足したり割り込んだりできる
- ・ 一度に持てる情報には上限があり、いっぱいになると自動で圧縮される
- ・ 道具があるから、文章を返すだけでなく行動できる
- ・ 許可の段階は4つ。手動／自動で受け入れる／プラン モード／自動モード



Claude Code 101 の3つめ

原題 Installing Claude Code

訳 インストール

全51回の、3回目です

あなたなら、どの許可の段階を選びますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く